

## 令和元年度 部局長マネジメント方針

う え だ よ う い ち  
上 下 水 道 事 業 管 理 者 植 田 洋 一



### 私の決意

上下水道事業の役割は、蛇口をひねれば水が飲め、洗濯、炊事ができ、使った水は排水口へ流し、雨が降れば浸水を防ぐという日常生活を維持していく上で、欠かすことのできないものです。

近年多発する豪雨や地震及び土砂災害などによる上下水道事業への影響は大きく、施設の復旧や応急給水活動などで、市民の皆様のライフラインを守っていく使命を果たしています。

発災時の被害を最小限に留めるためにも、管路をはじめとする上下水道施設の更新が喫緊の課題であります。

しかし、上下水道事業を取り巻く環境は厳しく、少子高齢化による給水人口減少、節水意識の向上や企業の減少などによる水道料金・下水道使用料等の収入減といった課題にも直面しているところです。

そういったことから、上下水道事業の中で職員一人ひとりが経営の現状を認識し、自助努力を図り、徹底した業務の効率化、経営の健全化を進めていかなければなりません。

現在、地震や風水害、水質汚染などから市民の「安全・安心」を守るため、水道事業といたしましては、上小阪配水場の更新、菱屋西配水場など老朽化施設の電気設備の更新、基幹管路の耐震化に取り組んでいます。

また、下水道事業といたしましては、災害リスクの軽減のため、既設下水道管の排水能力を増強する雨水増補幹線の整備事業や老朽化施設の長寿命化、耐震化事業を進めています。

今後、上下水道事業として管路などの施設の更新・耐震化は、ライフラインとしての上下水道事業の市民サービス向上に加え、被災時における管路などの被害軽減（ハード対策）と、万一の被害への対応として危機管理マニュアルの整備による市民への対応の充実及びこれに基づく防災訓練等の実施（ソフト対策）により、危機管理の両輪として機能させてまいります。

上下水道局では、これらの取り組みを確実に実施することによって、より一層の「安全・安心」をお届けできるよう努めてまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。